



Ja-Sakai コミュニティの  
概要と将来展望

2008年 9月 3日

法政大学

常盤 祐司

[yuji.tokiwa.dc@k.hosei.ac.jp](mailto:yuji.tokiwa.dc@k.hosei.ac.jp)

- Sakai概要
- Ja-Sakai概要
- メリットと参加方法

Sakai

The word "Sakai" is written in a large, black, sans-serif font. Below the text, there are three concentric blue circles that resemble ripples in water, centered under the word.

## 名前の由来

料理の鉄人“坂井宏行”から命名された



“Sakai” is not an acronym; it is simply the name given to the project and the software, initially conceived as extending the CHEF technology architecture.

CHEF, nearly an acronym for “CompreHensive collaborativE Framework”, was an online system designed and implemented at the University of Michigan to enable online communities to maintain relationships and share information.

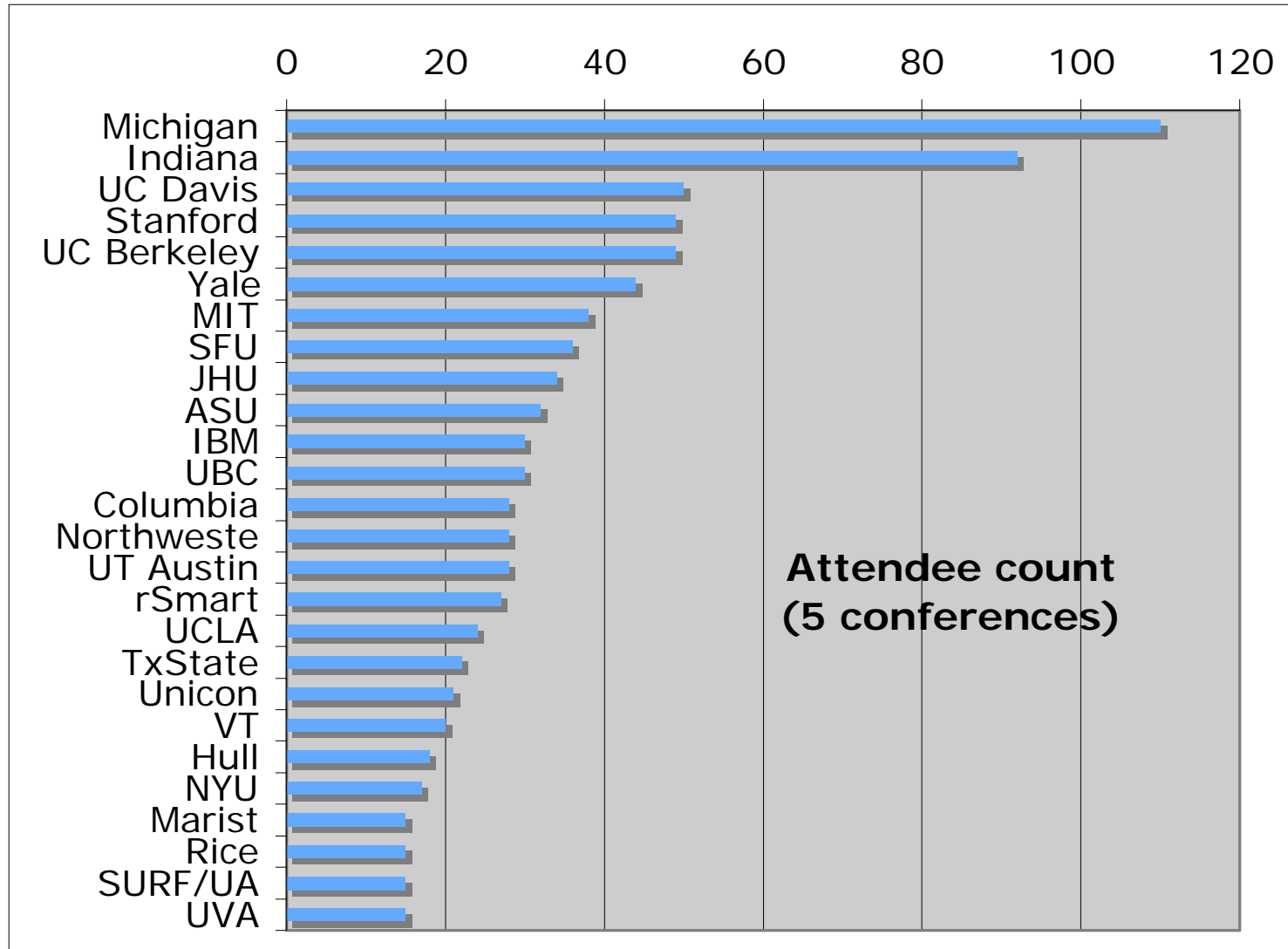
**Chef Sakai is a Japanese cooking artist.**

出典: Sakai Homepage, <http://sakaiproject.org/>

# Community / Number of Attendee to Sakai Conference



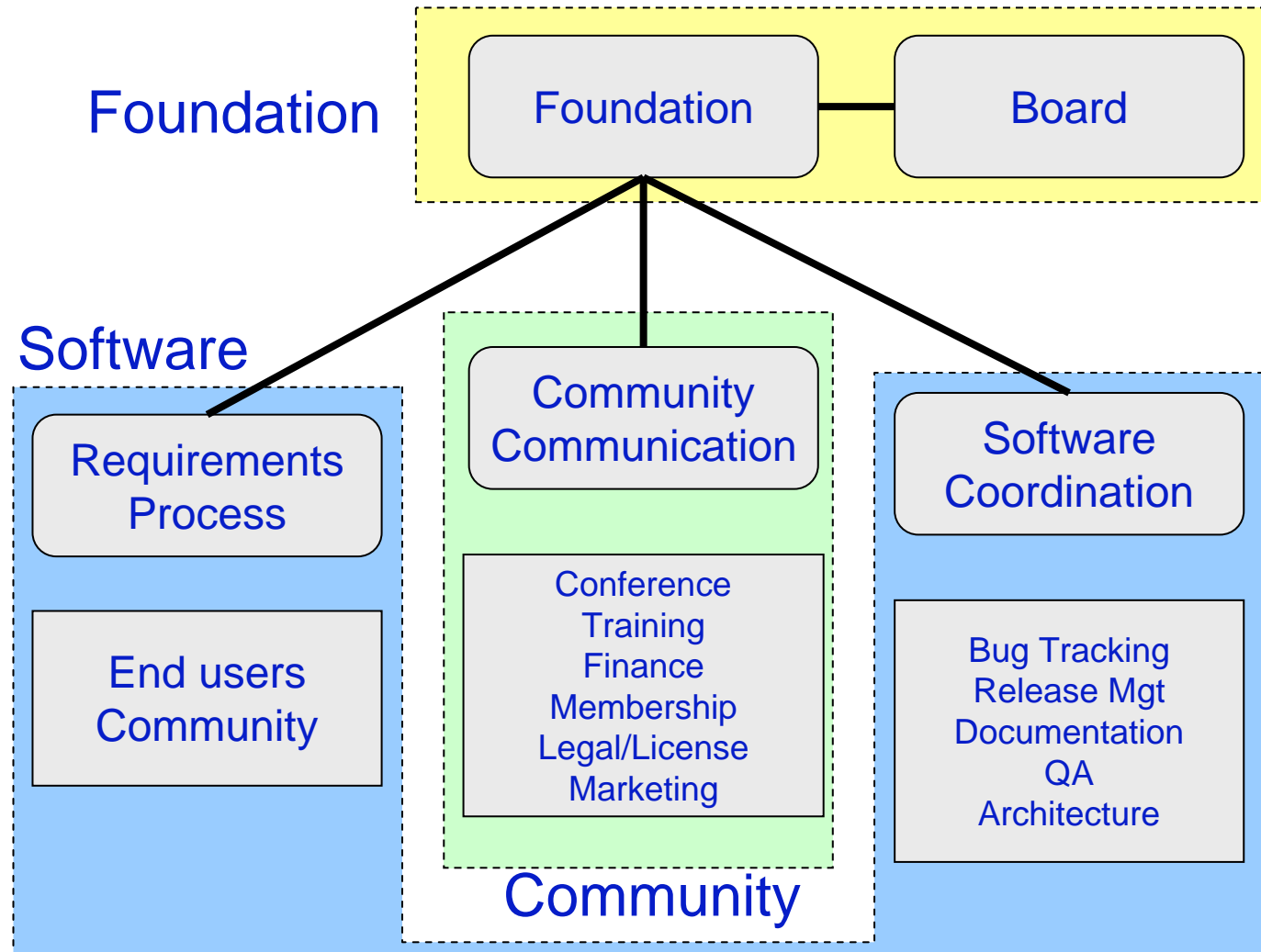
ミシガン大学およびインディアナ大学が中心となって活動している



大学および企業レベルで会員になる (個人会員はない)

大学(海外)	大学(日本)
University of Michigan	名古屋大学
Indiana University	法政大学
UC Davis	
Stanford University	
UC Berkeley	<b>企業</b>
Yale University	Oracle
MIT	IBM
University of Cambridge	SUN
Oxford University	John Wiley & Sons
University of Toronto ほか	rSmart ほか

SakaiはFoundation, CommunityおよびSoftwareを意味する



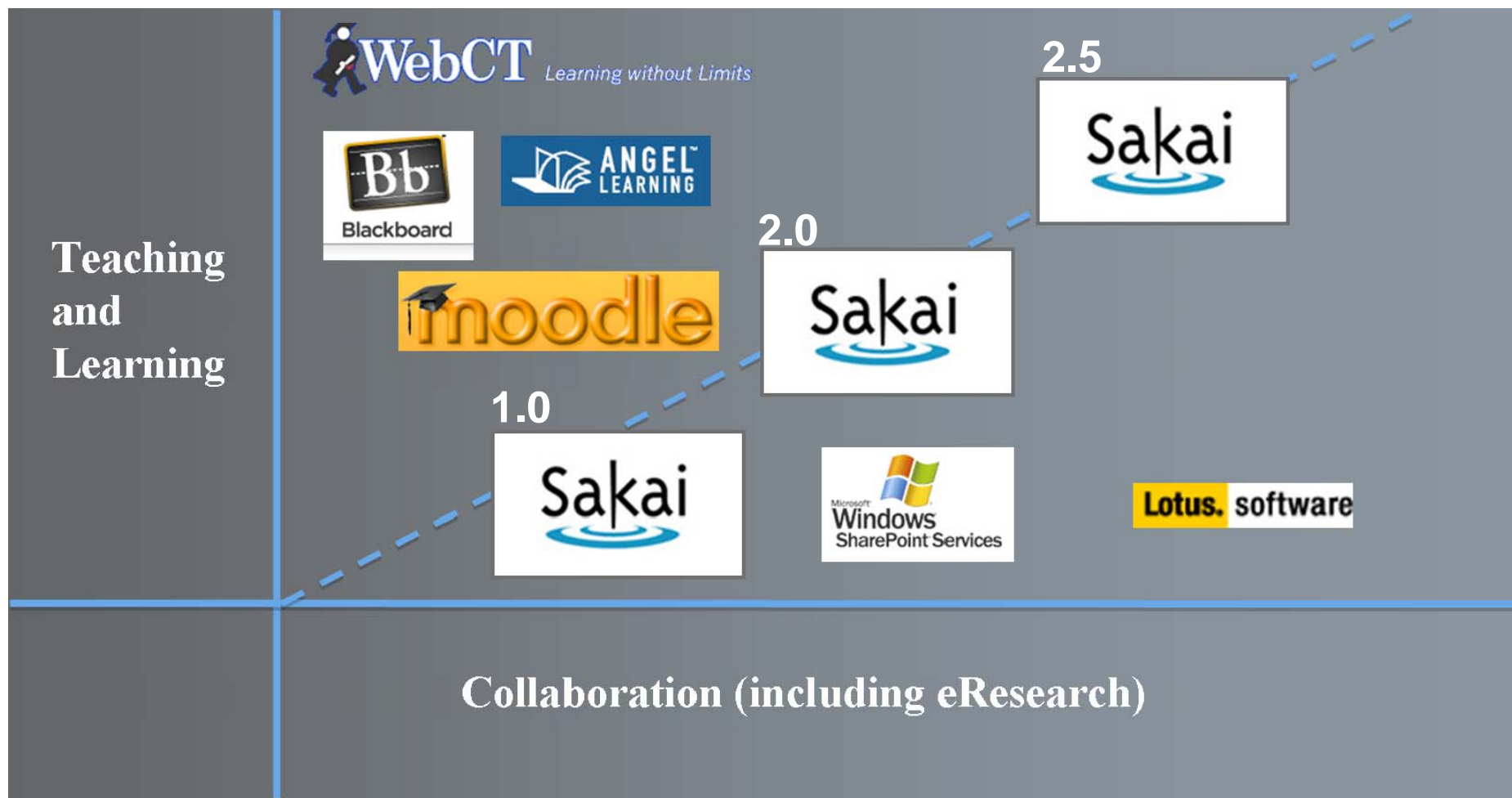
## 違和感のないユーザインターフェースを提供する





# Sakai CLE / 位置づけ

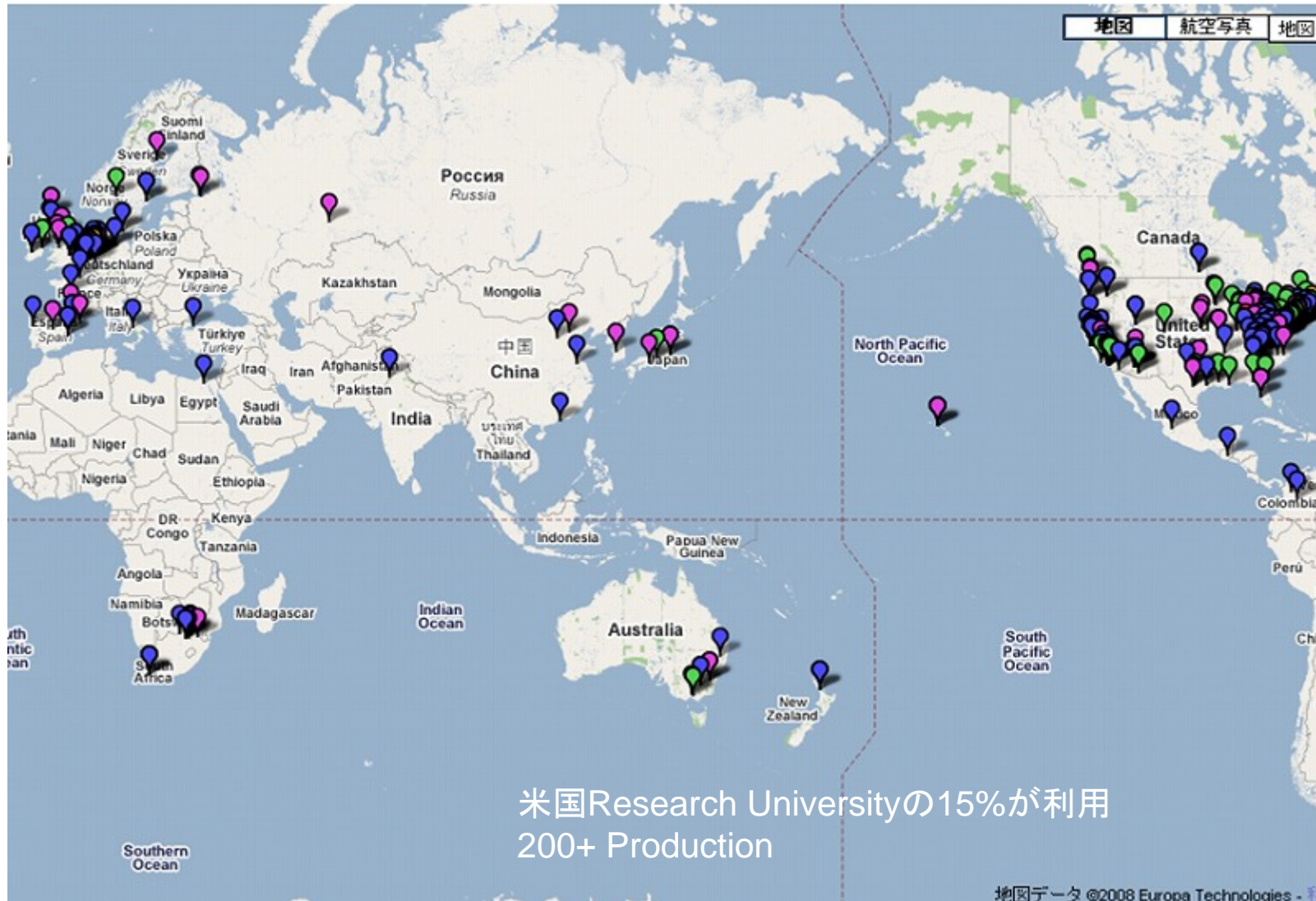
Collaboration 機能に加え Teaching & Learning の機能を強化している



出典: Charles Severance, "Sakai Overview"  
[http://www-personal.umich.edu/~csev/talks/2005/2005\\_12\\_01\\_overview.ppt](http://www-personal.umich.edu/~csev/talks/2005/2005_12_01_overview.ppt)

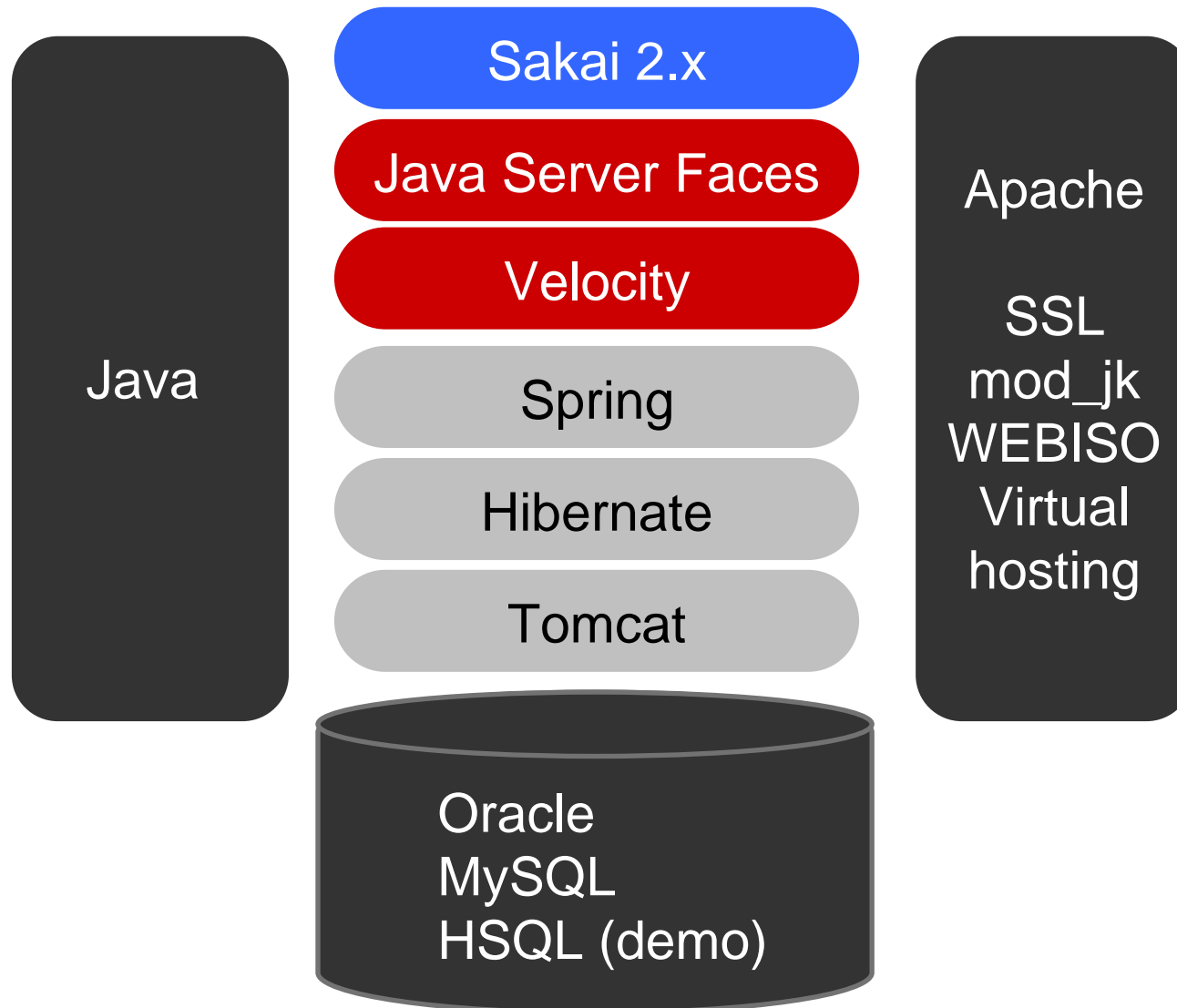
# Sakai CLE / Install Base

米国、ヨーロッパだけでなく、アジア、アフリカなどにも拠点ができつつある



米国Research Universityの15%が利用  
200+ Production

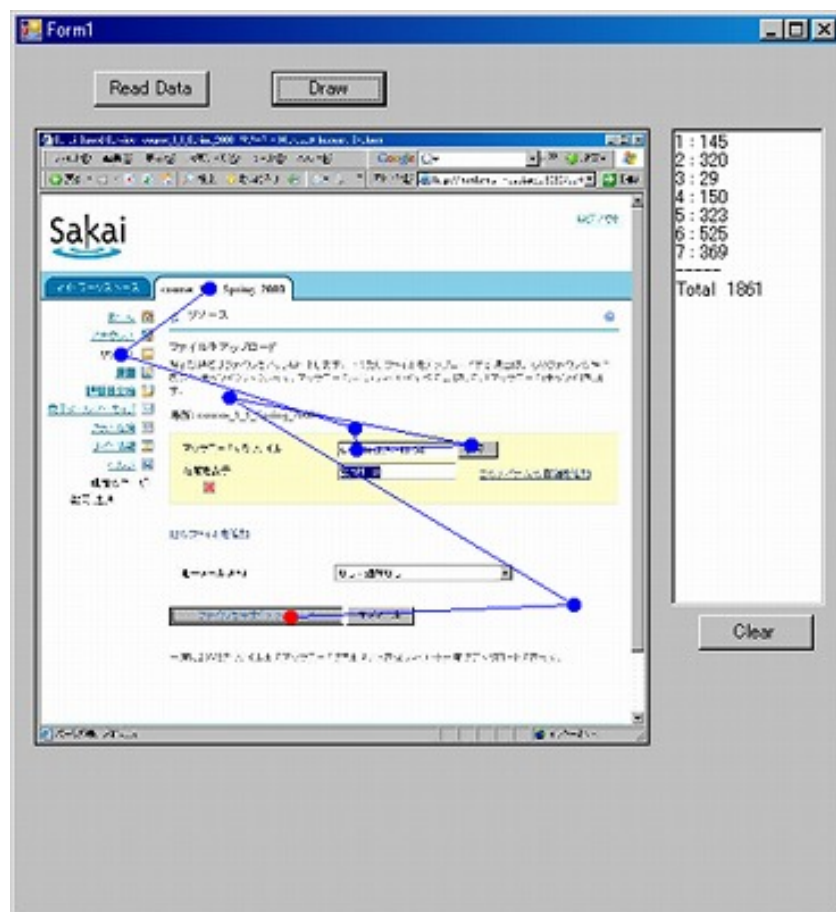
Sakai CLEはオープンソースにより構成されている



# 使い勝手の評価

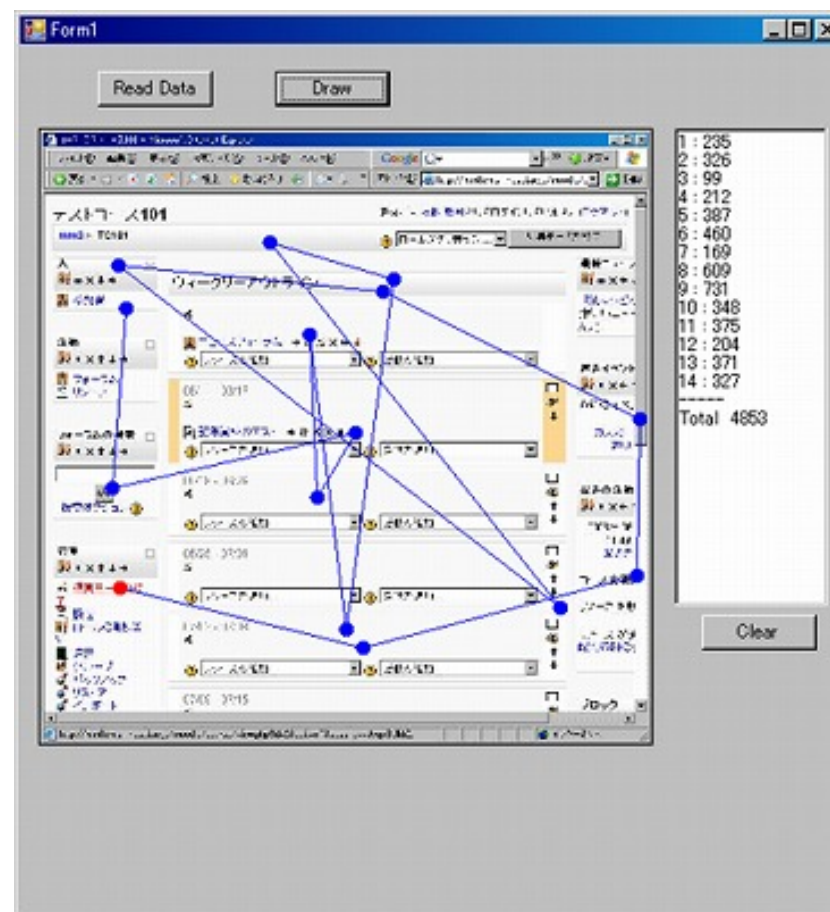
配布資料の設定においてSakai CLEは少ないマウスの動きで操作を完了することができる

## Sakai CLE 2.5.0



1861 pixel, 8クリック

## Moodle 1.9.14.1



4853 pixel, 15クリック



# カスタマイズの可能性

大学の要件にあったシステム開発をすることができる

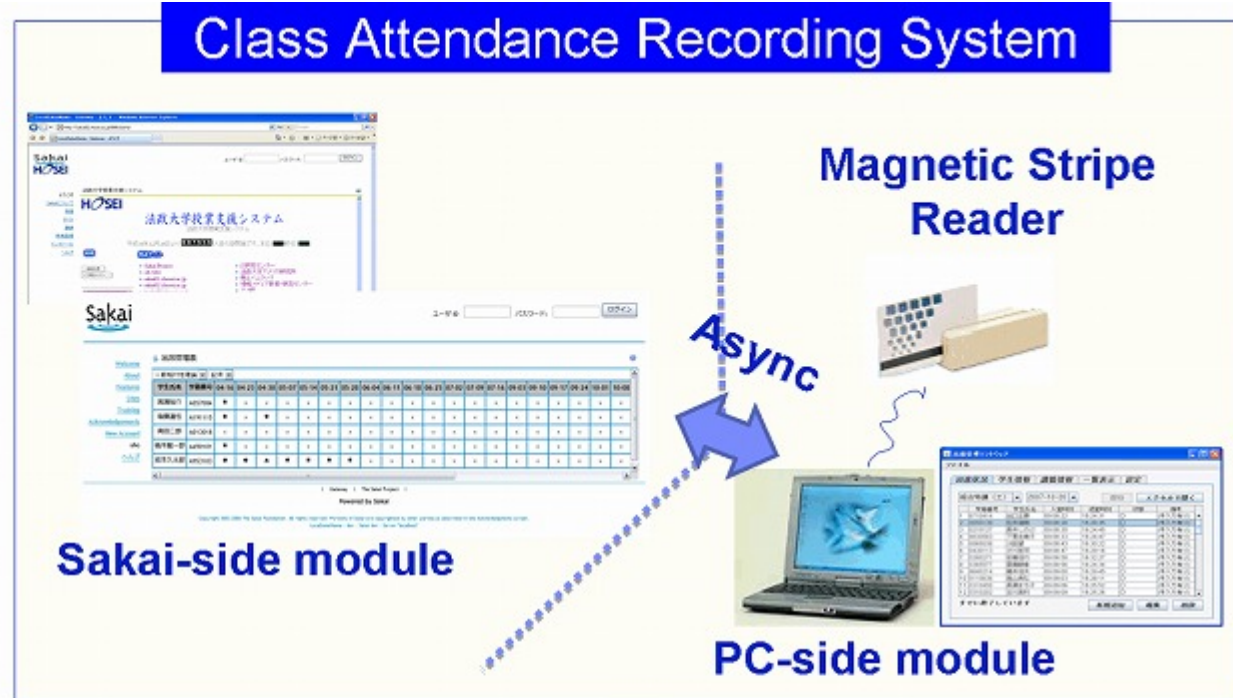


IT Research Center  
<http://www9.i.hosei.ac.jp/en/>

Research Institute, CA  
<http://www.huric.org/>

Hosei University  
 Tokyo, Japan  
<http://www.hosei.ac.jp/english/>

Contact:  
[it@hosei.ac.jp](mailto:it@hosei.ac.jp)



**Asian Sakai Express**

**Vietnamese**

**Traditional Chinese**

**Multi-Language Help**

**Locale Switch**



# Ja-Sakai 設立

## 9大学から17名の発起人が集まり2008年3月26日に設立された

### Ja-Sakai Community

#### 代表

八名和夫(法政大学・理工学部・教授)

#### 副代表

間瀬健二(名古屋大学・情報連携基盤センター・教授)

#### 監査

上田真由美(京都大学・学術情報メディアセンター・ポスドク研究員)

#### 幹事

梶田将司(名古屋大学・情報連携基盤センター・准教授)

児玉靖司(法政大学・経営学部・教授)

常盤祐司(法政大学・情報メディア教育研究センター・教授)

中澤篤志(大阪大学・サイバーメディアセンター・講師)

松葉龍一(熊本大学・eラーニング推進機構・准教授)

#### 運営委員一覧

上田真由美(京都大学・学術情報メディアセンター・ポスドク研究員)

梶田将司(名古屋大学・情報連携基盤センター・准教授)

児玉靖司(法政大学・経営学部・教授)

阪井和男(明治大学・情報基盤本部・教授)

竹村治雄(大阪大学・サイバーメディアセンター・教授)

玉木久夫(明治大学・理工学部情報科学科・教授)

壇辻正剛(京都大学・学術情報メディアセンター・教授)

常盤祐司(法政大学・情報メディア教育研究センター・教授)

中澤篤志(大阪大学・サイバーメディアセンター・講師)

中野裕司(熊本大学・総合情報基盤センター・教授)

深澤良彰(早稲田大学・オープンソースソフトウェア研究所・教授)

福原美三(慶應義塾大学・DMC機構・教授)

間瀬健二(名古屋大学・情報連携基盤センター・教授)

松葉龍一(熊本大学・eラーニング推進機構・准教授)

美濃彦彦(京都大学・学術情報メディアセンター・教授)

八名和夫(法政大学・理工学部・教授)

山本 慎(中央大学・理工学部数学科・教授)



# Ja-Sakai コミュニティ 設立趣意書

---

## 1. 名前

本コミュニティは Ja Sakai コミュニティと称する。

## 2. 非営利性

本コミュニティは Sakai Foundation 内の組織とし、Sakai Foundation Bylaws に従うものとする。

## 3. 目的

本コミュニティは、**Sakai Foundation 内における日本版 Sakai の開発・機能強化および利用促進を目的**とし、その実践を通じて Sakai Foundation が掲げる目的・ミッションを達成することを目指す。

## 4. コミュニティ構成

本コミュニティは、(1) Sakai Foundation の会員資格を持ち、日本国内に法人格を有する Sakai Partner (機関会員)、および、(2) 本コミュニティの活動に参加するコントリビュータ、により構成される。

## 5. コミュニティの責務

本コミュニティの活動は、コントリビューション(寄与)を基礎に構成される。コントリビューションの対象は、日本版 Sakai の開発・機能強化および利用促進活動に留まらず、国際版 Sakai の開発・機能強化および利用促進活動等、Sakai コミュニティ全体へのコントリビューションを行うものとする。

## 6. コントリビュータの入・脱会手続き

手続きについては、別途幹事会が定めるものとする。

## 7. 事業

本コミュニティでは、3. で定めた目標を達成するために次の事業を行う。(1) 日本版 Sakai の開発および機能強化活動、(2) 日本版 Sakai の利用促進活動、(3) カンファレンスの開催、(4) 講演会、研修会、見学会等の開催、(5) その他の事業。

(以下、省略)



## WGを設置して活動を進めていく

### 1. Ja-Sakai Dev WG

- Development and functional enhancement of a Japanese version of Sakai

### 2. Licensing WG

- Promotion for contract of CLA (Contribution License Agreement) and CCLA (Corporate Contributor License Agreement)

### 3. Ja-Sakai Conference WG

- Coordination of Ja-Sakai Conference

### 4. Ja-Sakai Website WG

- Conduct public relations activities by [www.ja-sakai.org](http://www.ja-sakai.org)

### 5. Ja-Sakai System Administration WG

- System management of JIRA and Confluence for Ja-Sakai

### 6. Sakai Foundation Liaison WG

- Harmonization with the Sakai Foundation

### 7. Ja-Sakai Advocacy WG

- Promotion of Sakai implementation into Japanese academic institutions

# Ja-Sakai ICT基盤

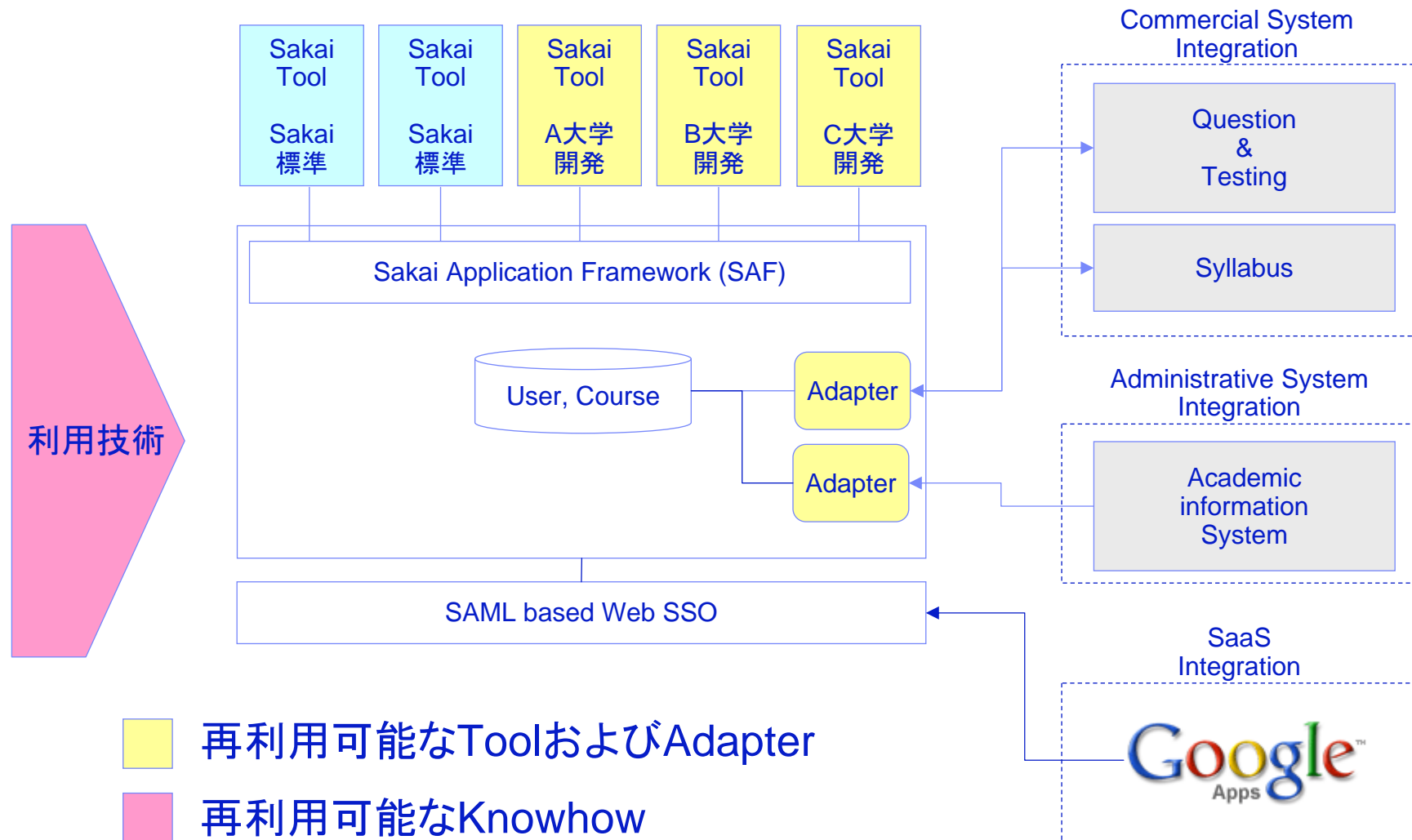
## Sakai に準じたICT基盤を利用して情報交換を行う

The image shows three overlapping browser windows demonstrating the Ja-Sakai ICT infrastructure:

- Confluence:** A page titled "第1回 Ja Sakaiカンファレンス" (1st Ja Sakai Conference) with details on date, location, and a table of speakers.
- JIRA:** A search results page for "Ja Sakai コミュニティ" showing a list of issues with columns for type, key, and description.
- Collab:** A "Resources" page for "サンプルサイト (標準編)" showing a list of site resources with columns for title, access, last update, and size.

# Ja-Sakaiのメリット

各大学で開発されたツールおよび利用技術が他大学で再利用できる



# Ja-Sakaiへの参加

## コントリビュータとしての参加をお願いします

### 設立趣意書「4. コミュニティ構成」より

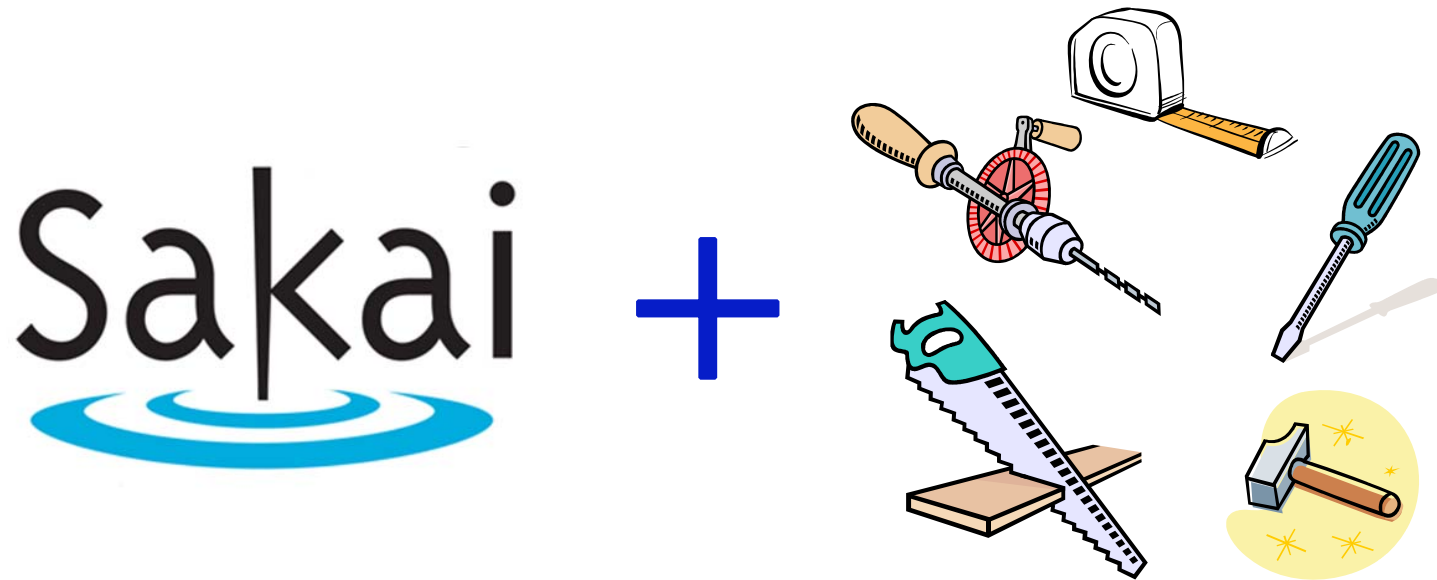
本コミュニティは、  
 (1) Sakai Foundation の会員資格を持ち、日本国内に法人格を有する Sakai Partner (機関会員)、  
 および、  
 (2) **本コミュニティの活動に参加するコントリビュータ**、  
 により構成される。



**サインアップを  
クリック**

**Ja-Sakai HP, <http://bugs.ja-sakai.org/confluence/>**

各大学で開発されたツールを組み合わせることで自分の大学にあった教育基盤を構築することができること



各大学で開発されたツール

## ■Ja-Sakai

日本の大学の利用にあった日本版Sakaiの開発および展開を推進する活動を実施していく。

## ■メリット

各大学で開発されたツールおよび利用技術が他大学で再利用できる。

## ■参加方法

Ja-Sakai HPからサインアップしコントリビュータとして参加してください。